



土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」 アンケートのまとめ

企業誘致課 スピンオフ企画
技能五輪見学ツアー
～職人の技を見に行こう～(11/18)

I 受講者より 参加して学んだこと・感想

- ・子どもから「大人が真剣に作業をしている姿がかっこよかった!」と聞き、どんなことへも全力で向き合っていく大切さを感じ取ってもらえたことを嬉しく感じました。今後も未来ある子どもたちに向けて他の企画も継続してもらえたいことを望みます。

(小5保護者)



- ・技能を磨いている人がいるから今の豊かな日本が成り立っているんだと思いました。(小6)
- ・様々な職業があることや、自分の技能を高めるため、日々努力している若い技術者の先輩の姿に刺激を受けたようです。ありがとうございました。(小6保護者)

- ・スポーツの五輪だけではなく、幅広い分野の技能も競う大会があることを今回の土曜学習で初めて知りました。本当に様々な分野があり、選手全員が真剣に取り組む姿を見て、とても感動しました。1日中見ていたくなる大会でした。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(中2)

第7期 チャレンジスポーツ in 多治見 ～田中亮明先生とふれあう会 & ボクシング体験～(11/25)



I 受講者より 参加して学んだこと・感想

- ・観覧させていただいていましたが、娘は楽しそうに参加していました。「ふれあう会」で

の質疑応答の内容もとてもよく、子どもたちが何か一生懸命取り組みたいと思わせてくれる話をたくさんしてくださっていました。高校生の方も優しく指導してくださり娘も安心して体験に参加できていたように思います。このような貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。(小1保護者)

- ・企画運営ありがとうございました。中学生の司会も素晴らしく、子どもにとってもよいお手本になったのではと思います。また、田中選手も気さくに声をかけてくださるので地元から世界で活躍する方との触れ合いを通じて刺激になりました。(小3保護者)

II 中学生ボランティアより

- ・ボランティアに参加して、自分はとてもためになった。これから何を思っているのか見えたのでよかった。次に参加する時があったら、もっといろいろな人の役に立っていきたくと思った。市長さんも言っていたみたいに「多治見のよさは人だ。」と思う。どんなにいい場所でも、そこにいる人が悪ければ、その町は悪く見られる。多治見は人も場所もいい。これから一緒に明るく多治見を盛り上げていきたい。(中3)

第8期 職業体験 「将来マナビジョン!!」(12/9)

I 受講者より 参加して学んだこと・感想

- ・たくさんの経験ができて「これからはいろいろなチャレンジしてみよう!」という気持ちになりました。ありがとうございました。(小5)



- ・「とっても面白い講座だな。」と思いました。職業体験はすべて

多治見にある仕事で、親の私もとても勉強になり「市内でこのように働いてくれている人たちがいるおかげで困ることなく暮らせているんだね。」と、子どもと話しました。また、お金をもらう時、とてもうれしかったそうです。とてもよい経験になりました。(小5保護者)

- ・たくさんの多治見のための職業を体験したりして、もっと多治見について知りたくなりました。また、多治見のことがもっと好きになったし、「自分のまちのためになる仕事がしたいな。」と、思いました。(小6)

第9期 「タイル博士になろう」(1/20)

I 受講者より 参加して学んだこと・感想

- ・モザイクタイルミュージアムでは、4階からの景色をタイルで作った作品が大きすぎてすごかった。天井が空いている所にあった作品が、上から床までついていて、たくさんのタイルでつくられていてすごいと思った。タイルの表裏をそろえる(貼り加工)体験で、職人さんの動きが速くてびっくりした。私は全部そろえるのを3回できたからうれしかった。カネキ製陶所の工場見学では、タイルの作り方で1250℃で焼くのを、たくさんのタイルを検査しているところが大変そうでした。(小6)
- ・多治見が大好きです。今でも一番だと思っているので、これ以上よくなるとすごいです。(小6)



II 中学生ボランティアより

- ・多治見市のタイルを未来へつなげていきたいです。今のロイロノートで送る形はあまり見ない人が多いので「土曜学習についての説明を再度すべきだ。」と思います。「たくさんの方が土曜学習に参加して、多治見のよさをより広めることができるといいな。」と、思います。(中2)

土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」1年のまとめ

I 学校運営上の課題 →教職員の時間外勤務の是正課題

・H27岐阜県下で土曜授業が各学校で実施の方向になったが、学校の仕事を増やさない

取組

- ・学校単位ではなく、多治見市教育委員会が一括して土曜学習を取りまとめ実施する
- ・地域の退職教員や地域の施設・団体等多様な地域人材の参画を得て実施
- ・作業の効率化を図るため、ICT化を推進し、ロイロノートによる児童生徒への直接配信を実施

指標

・多治見市小中学校で1か月の超過勤務を行う教員の年平均時間数

成果

R4 平均31時間50分 → R5 平均29時間20分

・土曜学習の実施講座は1回増えて11回実施したが、それにもかかわらず、増加はしていないので、学校への仕事量は増加していないものと推察する。

II 学校と地域の課題

課題

- ・H12をピークに人口減少・少子高齢化となっているので、持続可能な社会の構築が急務
- ・地域の活動に参加する児童生徒が全国平均より少ない

取組

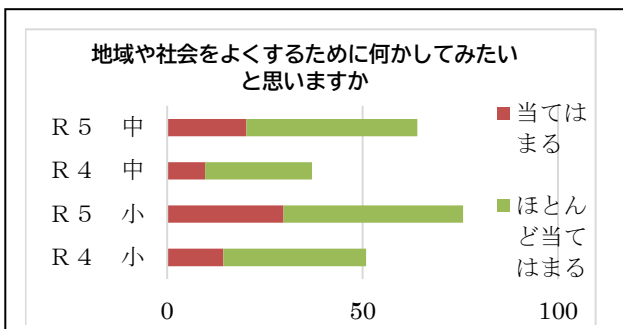
・地域の歴史や産業、多治見ならではの文化にふれる、体験する場を設け、多治見を好きになり、もっとよくなりたいという願いをもつ児童生徒を育成

指標

- ①全国学力・学習状況調査の生徒質問紙
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の当てはまる・どちらかと言えば当てはまるの合計
- ②土曜学習実施後のアンケートで「多治見がもっとよくなるといいと思うか」と聴収

成果

- ①全国学力・学習状況調査より
R4 44.0% → R5 69.9%
- ②土曜学習に参加した児童生徒のアンケートより
99.2%が「多治見がもっとよくなるとよい」と回答 残り0.8パーセントのうち、「今のままで十分よい」と言う回答もあったことを考慮すると、土曜学習講座に参加したほとんどが多治見についての願いをもつことができた。



III 学校と家庭の課題

課題

- ・社会的・経済的背景にもかかわらず誰もが学ぶことができる環境の実現
- ・コロナ禍での体力の低下によるけがの増加が目立つようになってきたので、学校以外での体を動かす場の設定

取組

- ・多治見市の小中学生ならだれでも無料で受講できる
- ・スポーツを楽しむ講座の開設

指標

・講座「チャレンジスポーツ in 多治見」年2回開設

成果

- ・講座「チャレンジスポーツ in 多治見(前期)」
8月 講師 GIFU SEIRYU HEROES (バスケット)
- ・講座「チャレンジスポーツ in 多治見(後期)」
11月 講師 田中亮明氏(ボクシング)以上、2講座開催
ふれあう会・体験講座を計画し、90名の応募があった。アスリートの生き方にふれ、スポーツを楽しむ機会となった。
※土曜学習にご尽力いただき、ありがとうございました。

令和5年度 連合生徒会交流会

34回連合生徒会交流会 8月3日(金) 駅北庁舎

1校5~6人の参集型で開催されました。「令和版 多治見市中学校宣言」の項目に関わって、自校の前期の生徒会活動や、後期に活動する内容について意見を交流しました。各校をシャッフルしたグループでの交流もあり、他校の生徒と積極的に話し合う姿が見られました。

第35回連合生徒会交流会の様子



午前は、各校の取組発表と中学校宣言「持続可能な社会に貢献する一歩として環境美化活動に進んで参加します」について、意見交流をしました。各校の活動の工夫や様々な意見に、生徒は刺激を受けていました。

午後は、高木市長を招き、講話をいただきました。また、市長からの議題「多治見市を住みよい街にするには、どのようにしていけばよいか？」についてグループ交流をし、市長に提案をしました。各グループの様々な提案に対し、市長から、お褒めの言葉やアドバイスをいただくことができ、とても充実した交流会になりました。

これからも創意工夫のある生徒会活動が展開されることを期待しています。会の運営にあたり、各校の生徒会の皆さんや担当の先生方、ありがとうございました。